

2) 国東めぐり ~ 周防灘に突き出した国東半島。
中央に位置する両子山 (標高 721 ㍎) から 尾根と深い渓谷が放射線状に延びる
東西 30 ㍎、南北 35 ㍎の緑深き半島です。ここでは数多くの寺院、坊跡、宝塔が
点在し、かつて「六郷満山」と呼ばれる独特な山岳仏教が花開きました

12時00分出発、約5時間のコースです。それまでにホテルロビーにお集まりください。
出発後はホテルには立ち寄らず、そのまま空港へ向いますので、
手荷物持参の上、チェックインをお済ませ下さい。また、ツアーには昼食も含まれております。

[コース] ホテル 昼食 富貴寺(ふきじ) 真木大堂(まきおおどう)
熊野磨崖仏(くまのまがいぶつ) 大分空港
(途中、立命館アジア太平洋大学を見学します。)



主な観光先のご案内

富貴寺(ふきじ)

現存する九州最古の木造建築である大堂は国宝。718年、仁聞の開基と伝えらる天台宗の寺院。
大分県豊後高田市路(ふき)

真木大堂(まきおおどう)

六郷満山65ヶ寺の中、本山本寺として最大の寺院であった馬城山伝乗寺のこと。
現存する9体の仏像はいずれも国指定重要文化財。作風からして平安時代のものと推定される。

熊野磨崖仏(くまのまがいぶつ)

胎蔵寺から250m登ったところにある巨大な不動明王(8m)と大日如来(6.8m)、
藤原末期といわれ両像とも国指定文化財および史跡。